

不適合情報

2021年1月12日(火)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、審議時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. G グレード 0件

2. G グレード 0件

3. G グレード 10件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	高圧炉心スプレー系非常用ディーゼル発電機のシリンダ(No.18)下部に油滲みを確認した。コーキングにて応急処置を実施。受けパン設置済み。当該部を点検・修理。なお、当該発電機は待機状態であるが、油滲みは微少であり運転に問題なし。また、他の非常用ディーゼル発電機(2台)が待機状態であることから、保安規定に基づく機能要求に問題なし。	2021/01/05	
2	1号機	電解鉄イオン注入系ポンプ(A)停止時に吐出逆止弁の開固着によるポンプの逆転、およびポンプ吐出側からのポンプ(A)への回り込みにより、系統流量が低下し、直流電源装置が自動停止したことを確認した。応急処置にて当該弁の閉を行い直流電源装置の再起動を実施。当該弁を点検・修理。	2021/01/06	
3	1号機	電解鉄イオン注入系ポンプ(B)停止時に吐出逆止弁の開固着によるポンプの逆転、およびポンプ吐出側からのポンプ(B)への回り込みにより、系統流量が低下し、直流電源装置が自動停止したことを確認した。応急処置にて当該弁の閉を行い直流電源装置の再起動を実施。当該弁を点検・修理。	2021/01/06	
4	2号機	原子炉建屋1階(管理区域)南東側の常用照明分電盤漏電遮断器(No.7)が動作し、原子炉建屋大物搬入口ならびに南東エリアの1/3の照明が消灯していること、および回路の絶縁抵抗値が管理値を逸脱していることを確認した。当該回路の停止および原因を調査し点検・修理。なお、消灯による作業・パトロール等への影響なし。	2021/01/05	
5	4号機	協力企業作業員が3/4号機サービス建屋～4号機原子炉建屋の管理区域内通路を移動していたところ、線用警報付きポケット線量計が鳴動したことを確認した。ただちに管理区域から退域し放射線量を確認したところ、線0.01mSvが記録されていた。移動経路に高線量の箇所はなく、通路の線量率は最大0.001mSv/h未満であったことから作業員の被ばくはなく、線量計の異常と判断。当該線量計を点検・修理。	2021/01/04	
6	4号機	サービス建屋3階(非管理区域)電気計器室床面に雨水と思われる水溜り(約30リットル)を確認した。拭き取り実施済み。当該箇所を点検・修理。	2021/01/07	
7	5号機	原子炉建屋3階(非管理区域)北側通路の避難誘導灯(1箇所)の視認性が悪いことを確認した。仮誘導灯を設置。誘導灯の設置場所を検討し移設または新設する。	2021/01/06	
8	6号機	換気空調補機常用冷却水系アンカープレート取り付け作業における焼鈍作業時、近傍の温度計指示値が上限値を超えていることを確認した。当該計器の使用を停止し作業終了後に点検・修理。	2021/01/07	
9	7号機	発電機遮断機投入組合せ試験時、投入判別回路が正常に起動しているにもかかわらず、自動揃速装置が動作せず、遮断機投入指令信号を検出できないことを確認した。当該事象の原因を調査し修理。	2021/01/05	
10	7号機	タービン建屋地下2階(管理区域)低压ドレンポンプ(A)脇床面に地下水の滲み(汚染なし)を確認した。拭き取り実施済み。当該箇所を点検・修理。	2021/01/07	